

 <p>放送大学</p>	<p>放送大学茨城同窓会会報</p> <h1>ときわ</h1>	<p>発行所 放送大学茨城同窓会(茨城学習センター内) 〒310-0056 水戸市文京 2-1-1(茨城大学内) 発行人 会長 矢野 正義 会員数 105名</p>
<p>茨城同窓会サイト：http://ibaraki.ouj-dosokai.net/ サークル合同サイト：http://open-university.yokappe.net/</p>		

1 放送大学茨城学習センター長のご挨拶... 1	3 今後の予定..... 7
2 行事報告..... 2	3. 1 古河・結城市周辺史跡めぐり 7
2. 1 同窓会連合会行事..... 2	3. 2 第12回通常総会&講演会のご案内..... 8
2. 2 学生講演会..... 3	4 会員便り..... 9
2. 3 入学・卒業祝のつどい..... 4	5 新入会員紹介・便り..... 11
2. 4 オープンキャンパス・学園祭 2012..... 4	5. 1 新入会員..... 11
2. 5 真岡・栃木研修旅行..... 5	5. 2 新入会員の便り..... 11
2. 6 伊勢・松阪研修旅行..... 5	6 同窓会連合会からのお知らせ..... 11
2. 6. 1 旅行概要..... 5	7 編集後記..... 11
2. 6. 2 参加者の感想文..... 5	
2. 7 修士・学士論文発表会..... 7	

1 放送大学茨城学習センター長のご挨拶

茨城学習センター長 白石昌武

東日本大震災から2年が経過しました。この2年の間に政治と経済が大きく動きましたが、変わらないのは大学教育です。放送大学の大部分の学生諸子が目的意識を持ち、その目的達成に向けて勉学する姿を国立大の学生が学んでくれたらといつも思っている次第です。そこで将来高齢者のケアをどうするかを年頭に置きながら、学外活動を踏まえた以下の教育課程を考えてみました。問題は、学生が積極的に自ら学習する意欲を見出す機会、及び内向き志向を打破する環境をいかに構築するかがカギではないでしょうか。その教育課程とは：



一年次：教養教育

二年次：次のいずれかを必修選択で期間は1年間

① 語学留学コース (10~20 単位：評価は英語によるレポートとプレゼンテーション)

② 学外サポート活動コース (10~20 単位：評価は卒業論文に類似の学外活動論文作成)

三年次、4年次：専門教育

キーポイントは二年次にあります。

語学留学コースは、各大学が自らの選抜法により20名の学生を選び（全国で年間推定4,000名）、1年間の滞在費のみ（1か月1人15万円程度）を各大学が負担します。その予算は国が運営費交付金に計上し、私立大学については国からの特別予算措置で実施します。国際性の観点から、若いうちに海外に出て外から日本を見つめると同時に外国の学生と交流を図り、将来海外の大学や研究機関への留学の切掛けを自ら掴むことが狙いであり、そのための語学力とコミュニケーション力を身に付けるコースです。

学外サポート活動コースは、語学留学コースに選抜されなかった、あるいは申請しなかった他の学生が4名程度からなるグループを構成し、主として所属する大学の都道府県での介護施設、福祉施設、老人ホーム、あるいはあらかじめ申請のある個人宅に赴き、高齢者や介護者をサポートするコースです。このような実務経験を通し、人を思いやる気持ち、コミュニケーション力と協調性の向上、さらには人間形成を目指すコースです。

いずれのコースも、入学後1年間学外での活動を通し自分を見直すことで目的意識が持て、勉学を続けたいという学生には学習意欲の向上が期待でき、一方大学よりも社会に出て自分を磨きたいという学生はその道を進めば良いわけです。学外での経験が幅広い知識と柔軟な思考力の向上、多様で変化の激しい社会での個人の自立と協働の精神の育成、さらには就職活動の取り組みへの考え方にプラスになることは間違いありません。

今大学の教育課程に求められているのは、早急なる学外活動の導入ではないでしょうか。

2 行事報告

2.1 同窓会連合会行事

《放送大学と同窓会の今後の発展について～放送大学と同窓会の会議開催される～》

平成24年12月15日（土）放送大学図書館大会議室において、放送大学岡部学長、二宮副学長、来生副学長、吉田副学長の大学幹部および放送大学関連部署長・スタッフと同窓会連合会メンバー（当日出席者北海道から沖縄まで34名）および同窓会連合会歴代会長（出席者8名）との会合が開催されました。会は平成19、20、21年度の卒業・修了生からの寄贈品贈呈式の後、「生涯学習機関である放送大学での同窓会の役割」のテーマでシンポジウムを行いました。

来生副学長の基調講演に続き、同窓会から平成24年に開催した九州地区同窓会交流会（報告者：石和熊本同窓会長）、近畿地区同窓会交流会（報告者：西口大阪同窓会代表世話人）の実施報告、シンポジウムのテーマである生涯学習に因んだ3件の事例紹介を行いました。紹介の内容は、①生涯学習を実践する放送大学での学生生活のきっかけの一つと位置付けられる学園祭に関して全国学習センター中で最も初期から学園祭を実施している神奈川同窓会から“フェスタ・ヨコハマ”について（紹介者：木村神奈川同窓会長）②個人レベルでの生涯学習の実施・継続について東京文京同窓会より（紹介者：工藤公子さん）、③地域の中での生涯学習の進め方について他校との連携の事例紹介が新潟同窓会より（紹介者：北澤新潟同窓会長）からありました。こ

の後、ご出席の先生方、同窓会連合会メンバー・歴代会長により討論、意見や感想、大学・同窓会お互いについての要望等の発言が相次ぎ、熱い雰囲気の中で盛り上がりました。シンポジウムの最後に岡部学長からご所感をいただき、盛会裏に閉会となりました。大学、同窓会双方にとって今後検討を行うに値する多くの情報交換ができ、お互いの考えや今後の方向を知り合う有意義な機会になりました。

(会長 矢野正義 記)



2. 2 学生講演会



恒例の学生講演会が平成24年12月8日(土)13時から16時に茨城県立図書館において行われました。この講演会は、「放送大学の卒業生や在学学生には、専門家レベルの知識・経験・知恵を有する者が存在する。それらを広く発信し社会の知とすることで社会貢献し、併せて放送大学の存在を知っていただく。」ことを目指して茨城学習センターと茨城同窓会が協力して一般市民をも対象にして開催しています。今回のメインテーマは「歴史・経済からみる地域社会活動」として以下の3件の講演を行いました。

- 1、企業の低炭素社会への取り組みと近未来の展望～日本の化学工業および電気機器製造業の現状と近未来を統計学的に解析する～ 竹内 孝
日本企業の温室効果ガス排出の削減を図りながら持続的発展を目指しての活動を考察
- 2、景観から読み解く古代社会～常陸国分僧寺と尼寺を通して～ 前島 寿子
全国国分寺遺跡を踏破して、天皇の詔の立地条件に如何に合致しているかを検証した
- 3、民話の掘り起こし活動～民話で地域が見えてきた！～ 河本 紀久雄

東海村の民話を掘り起こし、紙芝居化して演じる活動から生れる地域・世代間交流
各講演は講演者の知識や経験・調査などをベースにした内容豊富なもので、聴衆は熱心に聞き、感銘を受けた様子でした。この講演会は茨城学習センター・茨城同窓会のユニークな行事として今後とも毎年続けていくことにしています。

(会長 矢野正義 記)

2.3 入学・卒業祝のつどい

平成24年度1学期の学位記授与及び2学期の入学式が、学習センターにおいて行われ、引き続き同窓会主催の祝賀のつどいを開きました。50名を超える参加者と共に、ソフトドリンクで乾杯、喜びを分かち合いました。

恒例の全員インタビューでは、卒業生は努力の跡を振り返り、ゴールに到達した安堵感と喜びを語ってくれました。

一方入学生は、それぞれが大学で学ぶ明確な目的、あるいは期待感を披露し、頼もしい限りでした。

皆さまが自分の学習スタイルで、楽しく学び時には、茨城同窓会の活動にも参加し、見聞を広められることをお勧め致します。

(副会長 立原やい子 記)



2.4 オープンキャンパス・学園祭2012



第4回のオープンキャンパス・学園祭が2012年10月14日 盛大に開催されました。学習センター職員、各サークル、および放送大学茨城同窓会で実行委員会を作り、6月より5回の会議を重ね関係各所への広報活動、横断幕・立看板の作成、会場の設営などを行って来ました。

学園祭の講演会には、3.11の大震災の津波により流出した五浦海岸の六角堂復旧事業を指揮した、茨城大学名誉教授 三輪五十二先生を講師に迎え「岡倉天心と甦った六角堂」と題し震災後の復興に弾みをつける再建について、画像をまじえて講演を頂きました。熱く語られる先生の講演に会場の聴衆者は多くの感銘を受けておりました。

一方、紙芝居、手品、楽器演奏など盛りだくさんのアトラクションも有り、サークル・学生生活動の紹介、英会話サークル・PCクラブ体験会も催されました。今年の学園祭には、実行委員全員がそろいの放送大学シンボルマーク入り Tシャツ（ピンク、ターコイズブルー）を着て、皆さんを迎え華やかさに色を添えました。

(副会長 齋藤 保 記)

2. 5 真岡・栃木研修旅行

学生研修旅行「下野・栃木市史跡めぐり」が9月23日（日）あいにくの雨天の中、実施された。まず下野風土記の丘を訪れ、学芸員の詳細説明案内によって資料館・国分尼寺跡・国分寺跡を見学、規模の大きさに驚き、史跡保全の様子を勉強。鬼怒川を渡って下野国庁跡資料館を見学。栃木市内で昼食後、栃木蔵の街をボランティアさんの案内で巴波川畔に立ち並ぶ美しい蔵の街並みや山車会館を巡った。帰路下野薬師寺歴史館に立ち寄り、無事予定通りの旅を終えた。参加者は44名であった。

(理事 吉村 政一 記)



2. 6 伊勢・松阪研修旅行

2. 6. 1 旅行概要

- ①日程と目的地 2013-2-1~2013-2-3、三重県伊勢市および松阪市
- ②参加者 21名
- ③幹事 吉村政一、滝口政光、立原やい子、石黒敬子、前島寿子、葛貫千栄子、葛貫壮四郎

2. 6. 2 参加者の感想文

①石黒 敬子（人間と文化コース 卒業）

茨城学習センター同窓会は平成25年2月1日～3日（2泊3日）で式年遷宮を迎える伊勢神宮に研修旅行をしました。

雨上がりの神宮の森は何とも言い表せないパワーが全身にシャワーのごとく降り注ぎ広大な神宮のすばらしい力、魅力をしつかりと堪能できました。（万歩計約1万5千歩）皆でスタスタと歩き夜は宇治山田市の料亭で郷土料理の「手ごね寿司」を味わい又地元銘酒「神宮御料酒白鷹」で神々と交信した方もいらっしゃいました。

2日目は伊勢市のおかげ横丁を散策し名物伊勢うどんと赤福餅でエネルギーを補充し内宮参拝。式年遷宮の意義を学習いたしました。遷宮に関わる様々な行事、数千点に及ぶ諸道具があり、それらを確実に現代に伝えている真摯な姿勢は真剣な祈りの一形態であると思いました。

翌日は松阪市で松阪城から遠く霞む伊勢湾や、地元では古戦場の白米城とよばれる優美な山を愛で、国学者本居宣長記念館を見学し、勉強を呼吸をするが如くおこなった偉大な学者に感銘を受けました。夜は松坂牛の豪華なすき焼きを堪能ししつかりと見聞できたすばらしい研修旅行でした。参加者の方で江戸末期にご先祖様がお伊勢まわりをした方がいらしたのも奇遇でした。

②滝口政光（産業と技術 卒業）

衣食住の守り神である豊受大御神を祀る豊受大神宮（外宮）、皇室の氏神である天照坐皇大御神を祀る皇大神宮（内宮）がある日本文化のまほろばの郷の伊勢市ならびに近代日本の魁となる商人や本居宣長を初めとする著名文化人を数多く輩出した松阪市を2泊3日で歴訪しました。

本居宣長記念館の館長は宣長の一生を熱く語ってくれました。宣長は当初、引きこもりのような生活をしていて、やがて京都に上り医師修行をして松阪に戻り医者となり、その後、江戸の師・賀茂真淵と通信教育・遠隔教育により学者へと変身しました。伊勢参りで行き来する参拝者に論文・質問状や添削結果の配達を依頼したとのこと。後に宣長は全国の門人に書簡を用いた指導をしました。放送大学のルーツは伊勢・松阪から始まったと言っても過言ではないでしょう。オタク生活を送っていた青年が後世に名を残す国学者となりました。今回の旅でどこを出たかではなく何をしたかが問われていることが再認識させられました。

③堂本一成（総合文化プログラム 修了）

この度の研修旅行ではたいへんお世話になりました。幹事様には綿密な無理のないスケジュールをたてていただき、お陰様で日程通りの楽しい伊勢・松阪めぐりができました。伊勢内宮前のおはらい町では、江戸時代のお伊勢参りの旅人も食べた名物の伊勢うどん・赤福餅をおいしく味わいました。また江戸時代に商人の町として栄えた松阪では、お伊勢参りの旅人宿として創業した老舗旅館で伝統の松阪牛のスキヤキを十分に堪能しました。

④小堀義輔

「敷しまの倭ごゝろを人とはば、朝日ににほふ山ざくら花」（宣長 61歳）

おかげ参で伊勢神宮・松阪歴探ができました。有り難うございました。伊勢国度合郡を中心に山塊・河川・樹木・叢林等の自然と、建造物・装飾物が見事に融和する。神宮各宮の佇まいと相俟って、荘厳・端正な雰囲気、森羅万象すべてに神やどりする。気の遠くなる長期継続の式年遷宮。生を新にする・永遠の命を希求する凄まじいばかりの崇高な営み、整齊と継続できる力は何か。「古事記」の読み解きに人生をかけた宣長大人の歌「山ざくら花」とみては早計か

⑤葛貫千栄子（生活と福祉コース）

1日目は、外宮に参って2日目おはらい町の一角にある風情のある各種専門店が軒を連ねているおかげ横丁で昼食を済ませてから内宮へ向かいました。今年、平成25年に第62回伊勢神宮式年遷宮を迎えるので伊勢参拝者がたくさん訪れていました。20年に1度の最重要儀式に向けて御神体を遷す神殿が新しく建て替えられるため20年前と同じ作業を通じて次世代へと継承しているそうです。旅館鯛屋でスライスした霜降り肉松阪牛のすき焼きを美味しくいただきました。2泊3日の観光は、見所満載でとても思い出に残る楽しい旅になりました。



2. 7 修士・学士論文発表会

2012年8月26日に茨城学習センターで開催し、熱心な質疑が行われた。発表内容は下記の二つであった。最後に、白石センター長によるご所感があり、研究発表の仕方等講評いただきました。

(1) 土本 強(心理と教育卒業):

コンピューターゲームにおける面白さの心理的効果とその測定

(2) 石川 洋司(自然環境科学プログラム):

待宵草の開花に関する研究

(3) 白石センター長によるご所感



(事務局長 葛貫 壮四郎 記)

3 今後の予定

3. 1 古河・結城市周辺史跡めぐり

放送大学茨城学習センター主催、茨城同窓会・ふるさと探勝会共催で、平成24年度第2回学生研修旅行を下記の通り行います。今回は、結城市内の寺院・酒造所・郷土館、古河市内歴史郷土館・文学館などをめぐり散策します。但し、機関誌配布時には、申込み、行事とも終了しております。(幹事:細川、太田、吉村)

(ふるさと探勝会 吉村政一 記)

1 実施日

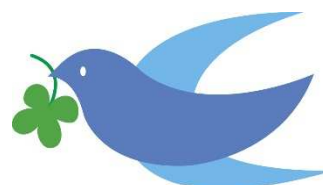
平成25年3月10日(日)

2 主な見学箇所

弘経寺、称名寺、結城酒造、秋葉糰味噌醸造、つむぎの館、古河歴史博物館、古河文学館

3 集合場所

茨大生協前 8:00 集合



4 参加費

3,200円(昼食代、茶菓子代等を含む)

3. 2 第12回通常総会&講演会のご案内

第12回通常総会を下記の通り実施します。総会終了後大槻氏によるフラ講演会(学生・一般の方も聴講可)を行います。更に、講演会終了後、学習センター職員、客員教授、学生、サークル団体の方、同窓会会員の皆様と大懇親会を行います。是非、お出かけ下さい。

機関誌送付に同封のハガキにて出欠をご連絡ください(4/10まで)。近況報告等もご連絡ください。

記

<総会>

1. 日時

2013年4月21日(日) 13:00~14:20

2. 場所

茨城学習センター3F 第1講義室

3. 議題

- ・H24年度活動報告
- ・H24年度会計報告及び監査報告
- ・H25年度活動計画
- ・H25年度収支予算

<講演会>

茨城同窓会理事大槻解子さんにご講演いただきます。多く方のご参加をお待ちしております。

1. 日時: 2013年4月21日(日) 15:00~16:00

2. 場所: 茨城学習センター 3F 講義室

3. 講演テーマと講演者

「フラのルーツを探る~ハワイの歴史と文化から~」

放送大学茨城同窓会理事 大槻 解子 さん

<大懇親会>

1. 日時：2013年4月21日（日）17:00～19:00
2. 場所：水戸市内（水戸駅近辺）詳細は参加者に後報
3. 会費；4000円/人（予定）

4 会員便り

同窓会員への連絡方法の確認についてアンケートを寄せていただき、そのとき近況報告された方の会員便りを以下に掲載します。（内容は若干編集させていただきました。葛貫壮四郎 記）

- ・同窓会の行事に参加できなくてすみません。少し勉強から遠ざかっているのですが、また、少しなにか勉強できたらと思っています。（手塚 直美）
- ・お世話になっています。よろしくお願いします。（柴弘子）
- ・行事等は参加できませんので、今後の連絡は不要と存じます。（高屋善次郎）
- ・現在、佐倉の病院に入院中です（10月より）、元気になりましたら出席したいと思います。（吉村武雄）
- ・同窓会では大変お世話になって居ります。年令を考えず無理な労働をし、腰を痛め苦勞しております。（黒羽利夫）
- ・再入学で来年は卒業する予定です。（山田健一）
- ・5月後期高齢者となりました。なるべく元気でいようと思います。（佐藤春子）
- ・近年右足の調子が悪く、諸行事に出席できませんので暫く休会させていただきます。（藤田喜久雄）
- ・放送大学大学院修士課程一年生として頑張っています。行事等に参加できなくて申し訳ありませんが、会報で同窓生の近況を知ることが出来てありがたいです。これからもよろしく願います。（澤田宣行）
- ・同窓会幹事の方には日頃お世話になります。私、元気とはいかず、近頃体調不調ですので連絡なくともかまいません。悪しからず。（赤津貞良）
- ・只今入院中です。宜敷く！！（松本和雄）
- ・これは連絡方法以前の問題である。総会でのアンケートによる行事選定や研修旅行学園祭の連絡等一斉同窓会からの連絡はなく、残念ながら今年度にて同窓会は退会させていただきます。（横田吉弘）
- ・永らくお世話にいただきましたが、私、11月に京都市の方に転居致しますので、同窓会は退会させて下さい。名残惜しいが・・・（東原弘和）
- ・いつもご苦勞いただきまして有り難うございます。皆様御活動・御活躍の様子を読ませてエネルギーをいただいております。（堀江洋子）

- ・お世話になります。よろしく申し上げます。(菊池幸子)
- ・放送大学は小生にとって生活のリズムになっているこの頃です。(菊地喜陸)
- ・11月頃文芸同人誌マピ第3号発行する予定です。発行しましたら会報への掲載依頼を送付しますのでよろしく申し上げます。(田中修)
- ・現在のパソコンが古くなったので年末に買い替える予定です。とりあえずは今のままのアドレスでお願いします。(大槻解子)
- ・お手数おかけします。これで連絡は万全ですね。(大川侑希子)
- ・いつもお世話様です。今後ともよろしく申し上げます。(内田信子)
- ・既にメールいただいております。(樫谷厚子)
- ・連絡が遅くなってごめんなさい。会報楽しみにしております。(飯田智子)
- ・伊勢・松坂研修旅行は申込みました。(小菅光子)
- ・「私が体験したコンピュータの世界40年」の自分史を整理しております。(滝口政光)
- ・お世話になります。この情報今後の諸活動に生かしましょう。(矢野正義)
- ・お世話になってます。同窓会からの連絡は、参加できなくとも活動の様子が分り、楽しみにしております。これからもよろしく申し上げます。(太田幸栄)
- ・10/26に茨大生涯学習研究会にて話しをすることになりました。(湯本鎌三)
- ・最近facebookに多くかかわっています。茨城SC所属の学生の「友達」も増えているのはうれしいですね。(杉本勝久)
- ・おせわさまです。Tシャツ受け取りました。(丹協子)
- ・いつもながらの素早い行動に感心します。ありがとうございます。(立原やい子)
- ・卒業後、なかなか行事に参加できず同窓会に顔を出せないのですがなんとか機会を作り皆様にお会いしたいと思って居ります。今後とも宜しく申し上げます。(井上哲孝)
- ・登録のメールアドレスをお願いします。(斉藤寿子)
- ・体調不調等により、ゴルフコンペに出いてませんが、年明けには出られる様がんばりますので、今後ともよろしくお願い致します。(市毛修)
- ・子どもも無事成長してくれています。(小林厚)
- ・旅行に出かけたり、ジムで筋トレやランニングをしたりして元気に過ごしております。いつもご連絡ありがとうございます。(工藤恵子)
- ・連絡がおくれて申訳ありません。夏から義姉が2人死亡し、法要に追われています。(石井衛)

5 新入会員紹介・便り

5.1 新入会員

3人の新入会員を紹介します。

氏名	住所	専攻
江面 宏	龍ヶ崎市	人間と文化
石黒 敬子	石岡市	生活と福祉
櫻井 秀子	つくば市	生活と福祉

5.2 新入会員の便り

①石黒 敬子

放送大学に入学した時は継続できるかな卒業はどうかなという不安がありました。今回戴いた卒業証書は少し遅れた還暦のお祝いを拝受したという気持ちです。良い学友に出会うことができ、感謝致しております。在生も同窓会入会可能であるとのことでしたので在学中に同窓会主催の行事に参加させていただきましたがおかげで楽しく、充実した学生生活となりました。この感謝の気持ちをシフトすべく、同窓会に入会しました。新会員ですどうぞよろしくお願いいたします。

6 同窓会連合会からのお知らせ

①平成24年度「卒業・修了祝賀パーティー開催

日時：平成25年3月23日（土）

11時00分～11時45分：卒業・修了式（NHKホール）

13時30分～15時15分：祝賀パーティー（ホテルニューオータニ芙蓉の間）

②放送大学同窓会連合会会報「公孫樹いちょう」第42号発行

2013年1月31日付で上記が発行されました。

下記URLから見ることができます。

<http://rengokai.ouj-dosokai.net/home>

7 編集後記

梅が咲き桜の季節もうすぐです。ときわの編集を葛貫事務局長から引き継ぎ、編集ツールをMacのPagesからWindowsのWordに変更し、イラスト、写真も入れてみました。印刷物は白黒ですが、カラー版は<http://ibaraki.ouj-dosokai.net/kaihou-kanren/kaihou-pdf>から [tokiwa_no22.pdf](#) をご覧ください。皆様のご協力により徐々に充実させていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。（滝口）